

畜産における暑熱対策について

熊谷気象台の観測によると、5月初旬から夏日が続いており、既に暑さが本格化しています。このような状況から、今年の夏も厳しい暑さが見込まれます。

この暑さは家畜にも大きなストレスを与え、生産性の低下や健康被害を引き起こす恐れがあります。

暑熱対策は、被害が出る前の早めの対応が重要です。通風や給水設備の点検を行い、家畜の様子をこまめに観察して、暑さによる影響を最小限に抑えましょう。

畜舎環境面からの対策

○畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネット等の設置（ネットにアサガオやアカザなどの植物を這わせる）
- ・屋根への断熱材の設置、石灰乳の塗布

○畜舎内から畜舎温度を下げる

- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風、散水

飼養管理面からの対策

○密飼いを避けて体感温度とイライラを軽減



植物利用した遮光ネット（兵庫県）
（農水省作成パンフレットより）

○毛刈りの実施（牛） ○飼料給与等の工夫

- ・冷たい水が十分に飲めるようにする（給水管の掃除、給水管を太くするなど）
- ・涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える

- ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う

作業者の方も御注意ください

家畜だけでなく、作業者の方も熱中症にならないように、無理をせずにこまめな休憩、水分・塩分補給を心掛けてください。

もし少しでも「おかしい」と感じたら、涼しい場所に避難し、医療機関に相談しましょう。